

地域の空家を守る

SOUPが管理事業「えんと」開始

シヨンで雪かきや雪下ろし、草刈りも行う。今夏から試験的に空家管理代行を始めたが、月一度の巡回で「空気の淀みなどなくなり、ただ放って置

くのに比べて家の痛みが少なくなっている」と好評を受け本格スタートした。

13年前に発足、栄村を拠点に活動する同社。アウトドアを通じた野外教育や学校体験プログラム作りなど展開して来たが、近年は地域の空家が^{増えているのを実感し、}新事業を開始。事業名は

『えんと』、栄村の方言で『歩く』の意味。村がいづまでも暮らしやすく、未来へ歩み続けられるよう願いを込めた。島崎社長(38)は「空家管理はこの地に住み続けられる環境を作ることに繋がる。本来は財産だが、何

もしないで朽ちて行くのはもったいない。空家管理はまず親戚、地域に頼んでいくと思うが、最後の選択肢として我々が関わっていければ」。問合せは信州アウトドアプロジェクト内事務局TEL 02 69-87-3386。

全国的な問題になっている「空家」。その管理代行を行うサービスを栄村の信州アウトドアサービス(島崎晋亮社長)が10月から開始。対象エリアは栄村と津南町で、月1回、1級空家管理士資格取得者が巡回。外部巡回による建物破損状況、家屋内の通風・換気や簡易清掃、水道栓の通水など実施。家の状況は写真付で依頼者に送る。オプ



空家管理事業を信州アウトドアプロジェクトがスタート(21日)